

First Trust SSI Strategic Convertible Securities ETF
ファーストトラスト SSI ストラテジック転換証券 ETF

交付運用報告書

2023年10月31日に終了する計算期間

免責事項

この交付運用報告書は、2023年10月31日付 Annual Report の記載事項の翻訳に基づいており、日本における投資家の参照用に作成されたものです。投資家は、この交付運用報告書及び上記 Annual Report との間に齟齬が生じた場合、上記 Annual Report が優先されることにご留意下さい。

- (注) 1. 本書に記載の「ドル」又は「\$」という用語は、別段の記載がある場合を除き米ドルを指します。また、本書に記載の金額のうち通貨単位の記載がないものは、別段の記載がある場合を除きその通貨単位は米ドルです。
2. 本書は、運用報告書に記載すべき事項のうち重要なものを記載した書面です。その他の内容については、運用報告書（全体版）に記載しています。

2024年8月15日

金融庁長官 殿

発行者

受益証券発行者名	ファースト・トラスト・エクスチェンジ・トレーデッド・ファンドIV (First Trust Exchange-Traded Fund IV)
----------	---

代表者の役職氏名	プレジデント兼チーフ・エグゼクティブ・オフィサー ジェームズ・エム・ディカス (James M. Dykas, President and Chief Executive Officer)
----------	--

本店の所在地	アメリカ合衆国、イリノイ州、ウィートン、イースト・リバティー・ドライブ 120 番地 400 号室 (120 East Liberty Drive, Suite 400, Wheaton IL 60187, United State of America)
--------	---

代理人の氏名又は名称	弁護士 樋 口 航
------------	-----------

代理人の住所又は所在地	〒100-8136 東京都千代田区大手町一丁目1番1号 大手町パークビル ディング アンダーソン・毛利・友常法律事務所外国法共同事業
-------------	---

事務連絡者氏名	弁護士 樋 口 航
---------	-----------

事務連絡場所	〒100-8136 東京都千代田区大手町一丁目1番1号 大手町パークビル ディング アンダーソン・毛利・友常法律事務所外国法共同事業
--------	---

電話番号	(03)6775-1142
------	---------------

外国投資信託に関する投資信託財産運用報告書に記載すべき事項のうち重要なものを記載

した書面

(交付運用報告書)

投資信託及び投資法人に関する法律第59条において準用する同法第14条第4項及び第6項の規定により外国投資信託に関する投資信託財産運用報告書に記載すべき事項のうち重要なものを記載した書面（交付運用報告書）を提出します。この報告書の記載事項は、事実と相違ありません。

本書の記載事項の説明**1. 運用方針**

「ファンドのパフォーマンス概要（未監査）」を参照。

2. 計算期間中における資産の運用の経過

「ファンドのパフォーマンス概要（未監査）」、「ポートフォリオの解説（未監査）」及び「財務ハイライト」等を参照。

3. 運用状況の推移

「ファンドのパフォーマンス概要（未監査）」、「ポートフォリオの解説（未監査）」及び「財務ハイライト」等を参照。

4. 計算期間の末日における純資産及び基準価額の状況

「貸借対照表」、「損益計算書」、「純資産変動計算書」及び「財務ハイライト」等を参照。

5. 信託報酬その他の手数料等

「ファンドの費用（未監査）」及び「損益計算書」等を参照。

6. 投資の対象とする有価証券等の主な銘柄

「ファンドのパフォーマンス概要（未監査）」等を参照。

将来予想に関する記述についての注意事項

本報告書には、1933年証券法（その後の改正を含みます。）及び1934年証券取引所法（その後の改正を含みます。）の意味における一定の将来予想に関する記述が含まれています。将来予想に関する記述には、ファーストトラスト・アドバイザーズ L.P.（以下「ファーストトラスト」又は「アドバイザー」といいます。）及び又は SSI インベストメント・マネジメント LLC（以下「SSI」又は「サブアドバイザー」といいます。）並びにそれらの各代表者の目標、信念、計画、又は現在彼らに利用可能な情報を考慮した現在の期待に関する声明が含まれます。将来予想に関する記述には、現在又は歴史的事実に関係しないすべての記述が含まれます。例えば、将来予想に関する記述には、「予期する」、「見積もる」、「意図する」、「期待する」、「信じる」、「計画する」、「かもしれない」、「するはずである」、「するだろう」など、将来の出来事や結果の不確実性を伝える言葉の使用が含まれます。

将来予想に関する記述には、既知及び未知のリスク、不確実性、その他の要因が含まれ、これらの要因が、本報告書で述べられているファーストトラスト・エクステンジ・トレーデッド・ファンド IV（以下「本トラスト」といいます。）のシリーズ（ファーストトラスト SSI ストラテジック転換証券 ETF。以下「本ファンド」といいます。）の実際の結果、業績、又は成果が、将来予想に関する記述によって表明又は暗示される結果、業績、又は成果と大幅に異なる可能性があることを意味します。この報告書に含まれる情報を評価する際には、これらの将来予想に関する記述に過度に依存しないよう注意してください。これらはアドバイザー及び/又はサブアドバイザー並びにそれらの各代表者の判断を、ここに記載された日付の時点でのみ反映しています。私たちは、ここに記載された日付以降に生じる出来事や状況を反映して、これらの将来予想に関する記述を公に改訂又は更新する義務を負いません。

パフォーマンス及びリスク開示

本ファンドがその投資目的を達成するという保証はありません。本ファンドは市場リスクに曝されています。これは、本ファンドが所有する証券の市場価値が減少し、その結果、本ファンドのシェアの価値があなたの支払った価格よりも低くなる可能性があることを意味します。したがって、本ファンドへの投資により損失を被ることがあります。

引用されているパフォーマンスデータは過去の実績を表しており、これは将来の結果の保証ではありません。現在のパフォーマンスは、示されている数値よりも低いか高いかかもしれません。最新の月末パフォーマンスデータについては、www.ftportfolios.com をご覧になるか、又は財務アドバイザーにお聞きください。投資収益、純資産価値、及びシェア価格は変動し、本ファンドのシェアは売却時に、その元のコストよりも価値が高い可能性もありますが、低い可能性もあります。

アドバイザーは、本ファンドのウェブページ（www.ftportfolios.com）で、定期的に本ファンドのパフォーマンスに関する追加情報を提供することがあります。

本報告書の読み方

本報告書には、本ファンドへの投資を評価するのに役立つ情報が含まれています。本ファンドに関する詳細な情報が含まれており、本ファンドのパフォーマンスや投資アプローチに関するインサイトを提供するデータや分析が提示されています。

本ファンドのポートフォリオ・マネジメント・チームによるポートフォリオの解説を読めば、市場環境が本ファンドのパフォーマンスにどのように影響したかを理解できるでしょう。続く統計情報は、本ファンドのパフォーマンスが関連する市場ベンチマークと比較してどのようなものであったかを理解するのに役立つかもしれません。

アドバイザー及び/又はサブアドバイザーの人員によって表明された意見は、あくまで情報に基づいた彼らの意見であることを念頭に置くことが重要です。これらの意見を約束や助言と考えるべきではありません。意見は、統計と同様に、本報告書の表紙の日付までの期間をカバーしています。本ファンドへの投資に伴う主要なリスクは、目論見書、追加情報のステートメント、及びその他の本ファンドの規制関連の提出書類に明記されています。

ファンドのパフォーマンス概要（未監査）

ファーストトラスト SSI ストラテジック転換証券ETF（以下「本ファンド」といいます。）は、通常の市場環境下では純資産（投資のための借入れを含みます。）の少なくとも 80%を米国内外の転換証券のポートフォリオに投資することでトータルリターンを追求する、アクティブ運用型の上場投資信託です。本ファンドのシェアは、Nasdaq, Inc.に上場しており、「FCVT」というティッカーシンボルで取引されています。

パフォーマンス

	平均年間トータルリターン			累積トータルリターン	
	2023年10月31日に終了した1年間	2023年10月31日に終了した5年間	設立（2015年11月3日）から2023年10月31日までの期間	2023年10月31日に終了した5年間	設立（2015年11月3日）から2023年10月31日までの期間
本ファンドのパフォーマンス					
NAV	-6.08%	6.79%	6.84%	38.89%	69.71%
市場価格	-6.50%	6.61%	6.73%	37.73%	68.32%
インデックスのパフォーマンス					
ICE BofA All US Convertible Index	-0.48%	8.73%	8.40%	52.00%	90.57%

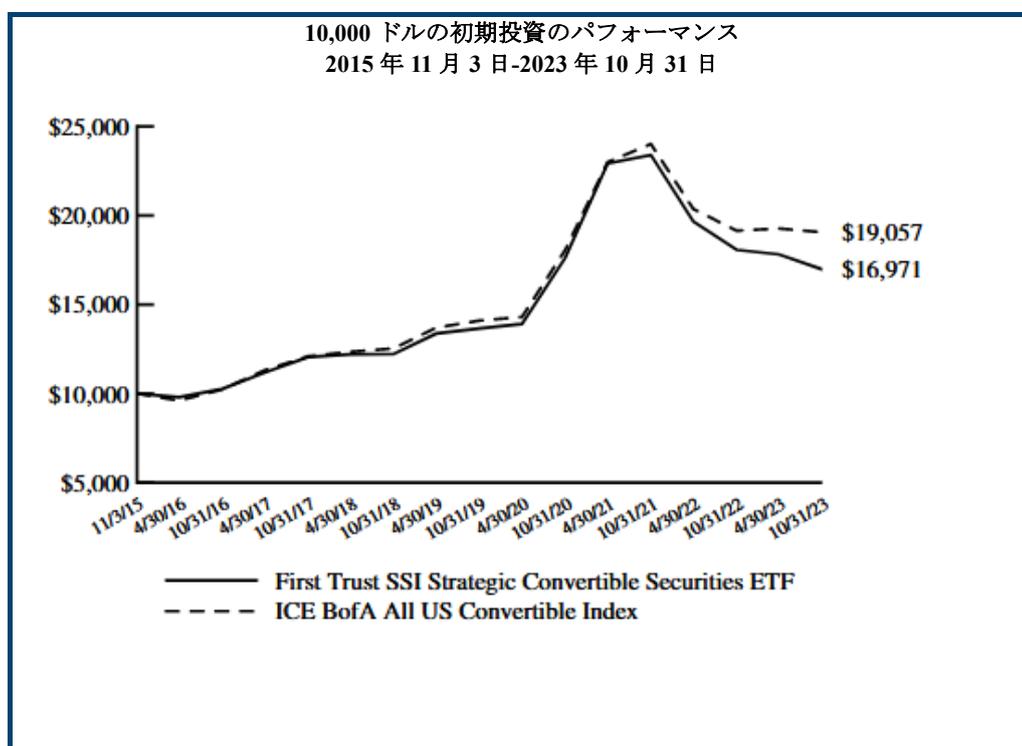
設立以来の期間におけるトータルリターンは、本ファンドの設立日から計算されます。「平均年間トータルリターン」は、示された期間における投資の価値の平均年間変化率を表します。「累積トータルリターン」は、示された期間における投資の価値の総変化率を表します。

本ファンドのシェア 1 口当たり純資産価額（以下「NAV」といいます。）は、本ファンドのシェア 1 口の価値であり、本ファンドのすべての資産（未収利息や配当を含みます。）の価値から、すべての負債（未払費用や宣言されているが未払いの配当を含みます。）を差し引いて、発行済みシェア総数で割って算出されます。市場リターンを計算するために使用される価格（以下「市場価格」といいます。）は、本ファンドの NAV が計算される時点での全米で最良のビッド価格とオファー価格の仲値（以下「NBBO」といいます。）を用いて決定されます。証券取引委員会の規則によると、NBBO は、本ファンドの NAV が計算される時点で本ファンドを取引している各取引所の中で最も高い買い価格と最も低い売り価格から構成されます。2019 年 1 月 1 日以前は、使用されていた価格は、本ファンドの NAV が計算される時点での本ファンドのシェアが取引されている証券取引所における最も高いビッドと最も低いオファーの仲値でした。本ファンドのシェアが本ファンド設立後まで流通市場で取引されなかったため、設立から本ファンドのシェアが流通市場で取引される最初の日までの期間においては、本ファンドの NAV を流通市場の取引価格に代わるものとして使用し、市場リターンを計算します。NAV 及び市場リターンには、すべての分配金が NAV と市場価格で本ファンドに再投資されたと仮定しています。

インデックスとは、特定の金融市場やセクターを追跡する統計的な合成物です。本ファンドと異なり、インデックスは実際に証券ポートフォリオを保有しておらず、したがって本ファンドが負担する費用は発生しません。これらの費用は、本ファンドのパフォーマンスに悪影響を及ぼします。また、市場リターンには、流通市場取引に関して支払義務が生じる可能性のある仲介手数料は含まれていません。仲介手数料が含まれる場合、市場リターンは低くなります。表示されているトータルリターンは、インデックス内の証券における配当の再投資を反映しています。表示されているリターンは、シェア保有者が本ファンドの分配金や本ファンドのシェアの償還又は売却に対して支払う税金の控除を反映していません。本ファンドのシェアの投資リターンと元本価値は、市場状況の変化に伴って変動します。本ファンドのシェアは、償還される際や市場で売却される際に、元のコストよりも価値が高くなることも低くなることもあります。本ファンドの過去のパフォーマンスは、将来のパフォーマンスを保証するものではありません。

セクター・アロケーション	投資総額に占める割合
情報テクノロジー	24.6%
ヘルスケア	16.3
一般消費財	10.6
通信サービス	10.6
金融	10.5
工業	10.3
公益事業	5.3
エネルギー	5.1
不動産	3.8
素材	1.7
生活必需品	1.2
合計	100.0%

保有上位 10 銘柄	投資総額に占める割合
Palo Alto Networks, Inc.(2025 年 6 月 1 日)	2.5%
Snap, Inc. (2028 年 3 月 1 日)	2.0
Wells Fargo & Co., シリーズ L	1.9
Uber Technologies, Inc. (2025 年 12 月 15 日)	1.7
DexCom, Inc. (2025 年 11 月 15 日)	1.7
ON Semiconductor Corp. (2029 年 3 月 1 日)	1.6
Workiva, Inc. (2028 年 8 月 15 日)	1.3
NCL Corp., Ltd. (2027 年 2 月 15 日)	1.3
Liberty Media Corp. (2053 年 9 月 30 日)	1.3
Pioneer Natural Resources Co. (2025 年 5 月 15 日)	1.3
合計	16.6%



パフォーマンスの数値は、すべての分配金の再投資を前提としており、シェア保有者が本ファンドの分配金や本ファンドのシェアの償還又は売却に対して支払う税金の控除を反映していません。インデックスとは、特定の金融市場やセクターを追跡する統計的な合成物です。本ファンドと異なり、インデックスは実際に証券ポートフォリオを保有しておらず、したがって本ファンドが負担する費用は発生しません。これらの費用は、本ファンドのパフォーマンスに悪影響を及ぼします。本ファンドの過去のパフォーマンスは、将来のパフォーマンスを予想するものではありません。

ディスカウントとプレミアムの頻度分布

本ファンドのシェアの市場価格が本ファンドの純資産価額より高い（プレミアム）又は低い（ディスカウント）日数を示す情報は、直近の年度及びそれ以降の直近の暦四半期（又は本ファンドの存続期間が短い場合はその期間）について、<https://www.ftportfolios.com/Retail/etf/home.aspx> で入手できます。

ポートフォリオの解説（未監査）

アドバイザー

ファーストトラスト・アドバイザーズ L.P.（以下「ファーストトラスト」又は「アドバイザー」といいます。）は、本ファンドの投資アドバイザーを務めています。ファーストトラストは、本ファンドの投資ポートフォリオを継続的に監視し、本ファンドの業務を管理し、本ファンドの運用に必要な一定の事務管理業務を提供する責任を負います。

サブアドバイザー

SSI インベストメント・マネジメント LLC

SSI インベストメント・マネジメント LLC（以下「SSI」又は「サブアドバイザー」といいます。）は、本ファンドのサブアドバイザーであり、カリフォルニア州ロサンゼルスに拠点を置く登録投資顧問会社です。SSI は、転換資産、エクイティ証券やヘッジ戦略を用いたオルタナティブ投資ソリューションを専門とする革新的な投資運用会社です。

ポートフォリオ・マネジメント・チーム

以下の者が本ファンドのポートフォリオ・マネジャーを務めています。

ジョージ・M・ダグラス-CFA、SSI のプリンシパル兼最高投資責任者
 ラヴィ・マリク-CFA、SSI のプリンシパル兼ポートフォリオ・マネジャー
 マイケル・J・オブレ-CFA、SSI のポートフォリオ・マネジャー
 フローリアン・イトナー-CFA、SSI のポートフォリオ・マネジャー
 スティーブン・R・ワクテル-CFA、SSI のポートフォリオ・マネジャー

ポートフォリオ・マネジャーは、本ファンドの日々の運用に第一義的に、かつ共同で責任を負います。2020 年より本ファンドのポートフォリオ・マネジメント・チームの一員であるワクテル氏以外の各ポートフォリオ・マネジャーは、2015 年より本ファンドのポートフォリオ・マネジメント・チームの一員となっています。

解説

市場動向-2023 年 10 月 31 日に終了した 12 カ月間

- インフレ率の低下、連邦準備制度理事会（以下「FRB」といいます。）による金融引締め継続や横ばいの収益成長率が経済と資本市場にとって逆風となっています。
- 2023 年第 3 四半期の米国の実質国内総生産は 4.9%増であることから、当面の景気後退の可能性は低いと思われます。
- 2023 年の企業収益の伸びは横ばい、また 2024 年は 11%の回復が見込まれます。
- ハイイールド債の信用スプレッドは 27 ベーシス・ポイント（以下「bp」といいます。）縮小しました。
- 予想されていた利下げが先送りされ、経済活動が予想を上回ったため、10 年物財務省証券利回りは 88bp 上昇し 4.93%となりました。
- 転換社債ユニバースでは、エネルギー、テクノロジー及び金融の各セクターがアウトパフォームした一方、運輸、素材及び公益事業の各セクターは低迷しました。
- 時価総額が中規模の企業の転換社債及びイールド・オルタナティブズ転換社債がアウトパフォームしました。
- 転換証券の新規発行は、2022 年度の 390 億ドルから 2023 年度は 500 億ドルに回復しました。

本ファンドのパフォーマンス

- 2023 年 10 月 31 日に終了した 12 カ月間は、エクイティのまちまちのリターンとハイイールド市場のプラスのリターンにより転換証券のパフォーマンスが押し上げられました。同期間中、S&P 500®Index は 10.14%上昇し、Russell 2000® Index は 8.56%下落し、Bloomberg High Yield Index は 6.23%上昇しました。
- 2023 年 10 月 31 日に終了した 12 カ月間は、債券が僅かながらプラスのリターンを計上し、Bloomberg US Aggregate Bond Index は 0.36%上昇しました。
- 1 年間の実績では、2023 年 10 月 31 日現在、ICE BofA All US Convertible Index (VXA0)（以下「ベンチマーク」といいます。）は 0.48%下落し、本ファンドは純資産価額ベースで 6.08%の純損失を計上しました。
- 本ファンドは、これまでバランス型債券を重視すると同時に、優良で時価総額の大きな会社もオーバーウェイトしてきました。2023 年 10 月 31 日に終了した 12 カ月間はこれらの市場セグメントがアンダーパフォームし、ポートフォリオのリターンはベンチマークを下回りました。
- 2023 年 10 月 31 日に終了した 12 カ月間は公益事業セクターのアンダーウェイトが本ファンドの相対リターンに最も寄与しましたが、一般消費財セクターの銘柄選択も相対リターンに貢献しました。
- 同期間中、ヘルスケア及び情報テクノロジーの各セクターの銘柄選択が本ファンドの相対リターンに対する最大のマイナス要因となりました。

投資の見通し

- FRB は現在の引締めサイクルの終盤にあると思われませんが、金利が「長期間高い」状態で推移する可能性があることを示唆しています。
- 金利は大きく上昇しましたが、インフレは低下基調にあり、経済は大方の投資家の予想を上回る好成績を収めています。
- 企業は好調な経済の恩恵を受けており、収益の回復が見込まれます。
- ストラクチャーの観点から見ると、転換証券市場は、相場の上昇局面を捉えると同時にダウンサイド・プロテクションを提供する魅力的なポジションにあると考えられます。転換証券市場の株価感応度及び投資額に係るプレミアムは数年来の低水準又はそれに近い水準にあります。
- 現在の環境を踏まえ、本ファンドは利回り重視の転換証券へのエクスポージャーを選択的に増やしました。
- 本ファンドのポートフォリオは、工業、エネルギー及びメディアの各セクターがオーバーウェイトとなる一方で、公益事業及び一般消費財の各セクターが最大のアンダーウェイトとなっています。
- ポートフォリオのデュレーション（1.98年）と信用力（BB-）はベンチマークと概ね一致しています。
- 特に中小型株市場が再び上昇トレンドとなれば転換証券は有意な機会を提供しますが、相場がボックス圏で推移したり落ち込む場合は収益とダウンサイド・プロテクションを提供することもあると考えています。

ファンドの費用（未監査）

本ファンドのシェア保有者は、2種類のコストを負担します。すなわち、（1）取引コスト、及び（2）継続的な費用です。これには運用手数料、販売手数料及び/又はサービス（12b-1）手数料（該当する場合）、及びその他のファンド費用が含まれます。この例は、本ファンドへの投資に伴う継続的な費用を理解し、これらの費用を他のファンドへの投資の継続的な費用と比較するのに役立つことを目的としています。

この例は、期間の初めに投資され、2023年10月31日に終了した6カ月の期間を通じて保有された1,000ドルの投資に基づいています。

実際の費用

以下の表の最初の行は、実際の口座の価値と実際の費用に関する情報を提供します。この行の情報とあなたが投資した金額を併せて使用することで、その期間に支払った費用を推定することができます。単にあなたの口座の価値を1,000ドルで割ります（例えば、8,600ドルの口座価値を1,000ドルで割ると8.6になります）。その結果に、「6カ月間に支払われた費用」という見出しの最初の行の数字を掛けることで、この6カ月間にあなたの口座で支払った費用を推定できます。

比較目的の仮想例

以下の表の2行目は、本ファンドの実際の費用比率及び費用控除前の仮定された年間リターン5%を基にした仮想の口座価値と仮想費用に関する情報を提供します。これは本ファンドの実際のリターンではありません。この仮想の口座価値と費用は、期間の実際の最終口座残高や支払った費用を推定するために使用することはできません。この情報を使用して、本ファンドや他のファンドへの投資にかかる継続的なコストを比較することができます。これを行うには、この5%の仮想例を他のファンドのシェア保有者報告書に記載されている5%の仮想例と比較してください。

表に示されている費用は、継続的なコストのみを強調するためのものであり、仲介手数料などの取引コストは反映されていないことにご注意ください。したがって、表の2行目は継続的なコストの比較にのみ役立ち、異なるファンドを所有する際の相対的な総コストを判断するには役立ちません。さらに、これらの取引コストが含まれていた場合、あなたのコストはより高くなっていたでしょう。

	2023年5月 1日時点の口 座開始価値	2023年10月31 日時点の口座終 了価値	6カ月間に 基づく年間 費用比率	6カ月間に 支払われた 費用 (a)
ファーストトラスト SSI ストラテジック転換証券 ETF(FCVT)				
実際	\$1,000.00	\$ 952.70	0.95%	\$4.68
仮定（費用控除前のリターンが5%）	\$1,000.00	\$1,020.42	0.95%	\$4.84

(a) 費用は、表に示された年間費用比率に期間中の平均口座価値（2023年5月1日から2023年10月31日まで）を掛けたものであり、さらに184/365（6カ月間を反映するため）を掛けたものに等しいです。

貸借対照表

2023年10月31日

資 産:

投資（評価額）	\$79,402,652
現金	1,304,256
受取勘定:	
売却された投資有価証券	758,785
利息	292,920
資産合計	<u>81,758,613</u>

負 債:

投資顧問料	68,625
負債合計	<u>68,625</u>

純資産	<u>\$81,689,988</u>
-----------	---------------------

純資産の内訳:

払込資本	\$113,023,621
額面価額	27,500
分配可能利益（損失）累計額	(31,361,133)
純資産	<u>\$81,689,988</u>

シェア1口当たり純資産価額	<u>\$29.71</u>
---------------------	----------------

発行済シェア数（授権数の制限なし/シェア1口当たりの額面価額0.01ドル）	<u>2,750,002</u>
---	------------------

投資（取得額）	<u>\$81,223,200</u>
---------------	---------------------

損益計算書

2023年10月31日に終了した年度について

投資利益:

配当.....	\$647,626
外国源泉徴収税.....	(51)
利息.....	(1,075,435)
投資利益合計.....	<u>(427,860)</u>

費用:

投資顧問料.....	1,111,427
費用合計.....	<u>1,111,427</u>
正味投資利益（損失）.....	<u>(1,539,287)</u>

実現及び未実現の正味利益（損失）:

正味実現利益（損失）の内訳:

投資.....	(2,813,986)
現物交換.....	(312,823)
外貨取引.....	18,031
正味実現利益（損失）.....	<u>(3,108,778)</u>

未実現増価（減価）の正味変動額の内訳:

投資.....	(572,700)
外貨換算.....	114
未実現増価（減価）の正味変動額.....	<u>(572,586)</u>

実現及び未実現の正味利益（損失）.....	<u>(3,681,364)</u>
-----------------------	--------------------

運用による純資産の正味増加（減少）額.....	<u><u>\$(5,220,651)</u></u>
-------------------------	-----------------------------

純資産変動計算書

	2023年10月31日に 終了した年度	2022年10月31日に 終了した年度
運 用:		
正味投資利益（損失）	\$(1,539,287)	\$(7,119,395)
正味実現利益（損失）	(3,108,778)	16,463,008
未実現増価（減価）の正味変動額	(572,586)	(67,343,746)
運用による純資産の正味増加（減少）額	(5,220,651)	(58,000,133)
シェア保有者への分配の原資:		
投資運用	(1,784,251)	(51,468,060)
シェア保有者取引:		
シェア売却手取金	—	141,338,091
交換済シェア費用	(84,759,126)	(163,876,174)
シェア保有者取引による純資産の正味増加（減少）額	(84,759,126)	(22,538,083)
純資産の増加（減少）額合計	(91,764,028)	(132,006,276)
純資産:		
期首	173,454,016	305,460,292
期末	\$81,689,988	\$173,454,016
発行済シェア数の変動:		
期首における発行済シェア数	5,400,002	5,850,002
売却されたシェア数	—	3,500,000
交換されたシェア数	(2,650,000)	(3,950,000)
期末における発行済シェア数	2,750,002	5,400,002

財務ハイライト

各計算期間中の発行済シェア 1 口について

	10 月 31 日に終了した年度				
	2023	2022	2021	2020	2019
期首における純資産価額	\$32.12	\$52.22	\$40.14	\$31.57	\$28.72
投資運用による利益:					
正味投資利益 (損失)	(0.42) ^(a)	(1.39)	(1.33)	(0.55)	(0.24)
実現及び未実現の正味利益 (損失)	(1.50)	(8.63)	14.42	9.65	3.58
投資運用による合計額	(1.92)	(10.02)	13.09	9.10	3.34
シェア保有者への分配の原資:					
正味投資利益	(0.49)	(1.39)	(0.62)	(0.53)	(0.49)
正味実現利益	—	(8.69)	(0.39)	—	—
分配額合計	(0.49)	(10.08)	(1.01)	(0.53)	(0.49)
期末における純資産価額	\$29.71	\$32.12	\$52.22	\$40.14	\$31.57
トータルリターン ^(b)	(6.08)%	(22.76) %	32.74%	29.10%	11.72%
平均純資産に対する比率/補足データ:					
期末における純資産 (千単位)	\$81,690	\$173,454	\$305,460	\$236,802	\$194,158
平均純資産に対する費用合計の比率	0.95%	0.95%	0.95%	0.95%	0.95%
平均純資産に対する正味投資利益 (損失) の比率	(1.32)%	(3.44)%	(2.60)%	(1.36)%	(0.63)%
ポートフォリオ・ターンオーバー比率 ^(c)	90%	94%	135%	119%	64%

(a) 平均発行済シェアを基準としています。

(b) トータルリターンは、当初投資が期首の純資産価額で行われ、すべての分配が期中の純資産価額で再投資され、当該期間の最終日に純資産価額で交換 (redemption) がなされる、という前提で計算されています。表示されたリターンは、シェア保有者が本ファンドの分配金や本ファンドのシェアの交換 (redemption) 又は売却に対して支払う税金の控除を反映していません。トータルリターンは表示された期間について計算されており、1 年未満の期間については年換算されていません。

(c) ポートフォリオ・ターンオーバー比率は、表示された期間について計算されており、1 年未満の期間については年換算されていません。また、設定 (creation) や交換 (redemption) の処理及び現物取引により受領又は交付された有価証券を含みません。